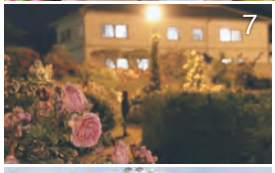
第１章「つぼみ・むすぶ・ひらく」

2014 信州なかのバラまつり

22 日間の開催期間中に、約 58,000 人の皆さんが来園し、美しいバラとさまざまなイベントを楽しみました。

21回目を迎えた「2014信州なかのバラまつり」は、テーマを「Ribbon（りぼん）～つぼみ・むすぶ・ひらく～」とし、平成26年6月1日から22日までの22日間にわたり、一本木公園を会場に盛大に開催されました。例年よりも開花時期



園内風景

1、2、6、8、9）来園された皆さんを満開のバラが迎えます。3、4）階段を上るとイングリッシュガーデンから北信五岳までもが一望できます。5）大人気の中野青年会議所「写生コンクール」。7）夜にはバラがライトアップされました。

※この特集は平成26年7月に行われたものです。

～2014信州なかのバラまつりの様子をご紹介します～

野外ステージイベント

1）HIPHOPダンス。2）フラダンス。3）ブルガリア民族音楽。4）フラワーアレンジメントショー。5）混声合唱。6）バグパイプ演奏。7、8）ローズ・JAM。9）小山内健（おさないけん）さん講演会。

が早まる中での開催となりましたが、約5万8000人の皆さんが来園され、850種2500株の美しいバラと、さまざまなイベントを楽しんでいました。

また、全国からバラをまちづくりに生かしている自治体が集う「第23回ばら制定都市会議（通称ばらサミット）」も開催され、バラをまちおこしに活用するための情報交換などが行われました。

信州なかのバラまつりとばらサミットは、中野市バラまつり実行委員会、第23回ばら制定都市会議実行委員会、一般社団法人一本木公園バラの会会員のほか、大勢のボランティアスタッフの皆さんの協力に支えられて行われました。

信州なかのバラまつりと一本木公園が、市民の皆さんに愛され親しまれ続ける場所であるように、大勢の方から協力を得て、これからもバラと皆さんの物語は続きます。

なかのローズタウン・市街地の様子

1）なかのローズタウン実行委員の皆さんが出店で来場者をお出迎え（写真：信州中野商工会議所青年部）。2、3）テーマを「バラの楽園」とし、越ちひろさんと中野立志館高校美術部によって行われた「ばらライブペイント」。4）中央広場公園を会場に行われた「なかの花づくりコンテスト2014」。5、6）期間中は、市街地の至る所でバラが花を咲かせました。